

モダン・タイポグラフィ

批判的タイポグラフィ史試論

ロビン・キンロス著、山本太郎訳

世界各国で翻訳されているタイポグラフィの基本文献がついに邦訳。思想、技術、社会からたどる西欧タイポグラフィの近代史。

「タイポグラフィの歴史を論じた書物としてこれ以上に優れたものはない。タイポグラフィの専門家、学生、そしてパーソナル・コンピューターとDTPを通じてタイポグラフィを知った新たな一般の読者のために、モダン・タイポグラフィが現状へといたるまでを紐解いた最良の書物である」

——マシュー・カーター（タイプ・デザイナー）



目次

- 1 モダン・タイポグラフィ
- 2 啓蒙主義の諸起源
- 3 19世紀という複合体
- 4 反動と反乱
- 5 新大陸における伝統的な価値
- 6 新しい伝統主義
- 7 ドイツの印刷文化
- 8 北海沿岸の低地帯諸国の印刷文化
- 9 ニュータイポグラフィ
- 10 モダンな人々の移民
- 11 終戦直後の状況と復興
- 12 スイス・タイポグラフィ
- 13 モダニズム以降におけるモダニティとは
- 14 実例
- 15 出典：文献解題
- 16 出典：参考文献

仕様

A5判、320頁、上製、函
定価 本体3,600円（税別）
デザイン：白井敬尚形成事務所
ISBN978-4-7661-3274-8

ご注文・お問い合わせ

株式会社グラフィック社
〒102-0073
東京都千代田区九段北1-14-17
Tel 03-3263-4318
Fax 03-3263-5297

書店印	書名（新刊）	注文数
	ロビン・キンロス著 山本太郎訳 モダン・タイポグラフィ 批判的タイポグラフィ史試論	
地区	書店コード	
定価：本体3,600円（税別） ISBN978-4-7661-3274-8		冊